

2014年12月29日
株式会社日立製作所

シンガポールの水関連設備エンジニアリング会社を買収

RO 膜システムとの組み合わせによる総合提案力の強化

株式会社日立製作所(執行役社長兼COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、インフラシステム事業の東南アジア地域統括会社である Hitachi Infrastructure Systems (Asia) Pte. Ltd.(代表取締役社長:大竹 雅明/以下、日立インフラシステムアジア社)を通じ、シンガポール共和国(以下、シンガポール)の商業施設・公共施設および住宅向け水関連設備のエンジニアリング会社である Aqua Works and Engineering Pte. Ltd.(代表者 Chang Kok Thye/以下、Aqua Works 社)を買収することを決定し、Aqua Works 社の発行済みの全株式に対する売買契約を締結しました。今後、本契約に基づき、2015年1月末の買収完了に向けた手続きを進めます。

日立は本買収により、日立が事業展開する水処理システムである RO*膜システムに Aqua Works 社の有する水関連設備を組み合わせることで総合提案力の強化を図るとともに、Aqua Works 社の東南アジアでの顧客基盤を活用することで水・環境ソリューション事業の強化・拡大をめざします。

現在、限られた水資源の有効活用が求められる中、RO 膜システムは、海水淡水化による飲料水の確保や、生活・産業排水を工業用水などへ再利用可能とする水処理システムの中核製品として活躍しています。近年、水資源の少ない島しょ国や中東などの地域では、多くの水を必要とする噴水やプールなど水を利用した景観設備に RO 膜システムを併設する設備構成が主流となっており、さらなる RO 膜システムの需要拡大が見込まれています。

日立は、日立インフラシステムアジア社の100%子会社である Hitachi Aqua-Tech Engineering Pte. Ltd.(代表者:Tang Chay Wee/以下、日立アクアテック社)において、RO 膜システムの設計から製造、販売、メンテナンスを手がけており、これまでシンガポールやモルディブ共和国、中東諸国での豊富な納入実績があります。一方、Aqua Works 社は、26年にわたり、シンガポールを中心に、噴水・プールなど水を利用した景観設備の設計・エンジニアリング、施工、メンテナンスに携わっており、高いデザイン力やエンジニアリング力を有していることから、顧客から高い評価を得てきました。

日立は、今回の買収により、Aqua Works 社の保有する技術力・顧客基盤・人財・ノウハウなどの各種リソースを活用することでシナジー効果を創出し、水・環境ソリューション事業の強化・拡大を図ります。具体的には、Aqua Works 社の有する噴水・プールなどの水を利用した景観設備を取り込むことで取り扱い製品を拡大するとともに、商業施設・公共施設および住宅向け水関連設備に日立アクアテック社の RO 膜システムを組み合わせたパッケージ提供を行うことで総合提案力を強化します。さらには、Aqua Works 社の有する顧客基盤を通じ、東南アジアでの受注機会の拡大を図ります。

日立は、水・環境ソリューション事業を「社会イノベーション事業」の注力分野と位置付けています。今後も、顧客やパートナー企業との連携を強化するとともに、日立グループの総合力を生かして、水・環境ソリューション事業のグローバル展開の強化・拡大を図っていきます。

* RO:Reverse Osmosis(逆浸透)

■ Aqua Works 社の概要

社 名	Aqua Works and Engineering Pte. Ltd.
所 在 地	シンガポール
事 業 概 要	商業施設・住宅向けの水を利用した景観設備(噴水、プールなど)の設計・エンジニアリング、施工、メンテナンスなど
代 表 者	Chang Kok Thye
設 立 年	1988 年
株 主	Yeo Khee Ling: 55%、Lim Onn Yee: 30%、Chang Kok Thye: 15%
資 本 金	953,084S\$
売 上 高	9,070,000S\$(2013 年度)
従 業 員 数	87 名

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
